

# NEWS RELEASE

令和6年11月12日

お客さまへ

株式会社 栃木銀行  
取締役頭取 仲田 裕之

## 「とちぎんデジタル化プランニングサービス」の開始について

株式会社 栃木銀行(取締役頭取 仲田 裕之)は、デジタル化支援を通じてお客さまの課題解決・新たな価値提供に一層取り組むため、事業者向けに「とちぎんデジタル化プランニングサービス」の提供を開始しますので、お知らせいたします。

### 記

#### 1. 背景

原材料高騰や労働力人口の減少など、事業者を取り巻く経営環境が厳しさを増す中、デジタル化による業務効率化等の生産性向上に取り組むことは、どの事業ライフサイクル（導入期・成長期・成熟期・衰退期）においても企業価値向上のための重要な課題となっております。

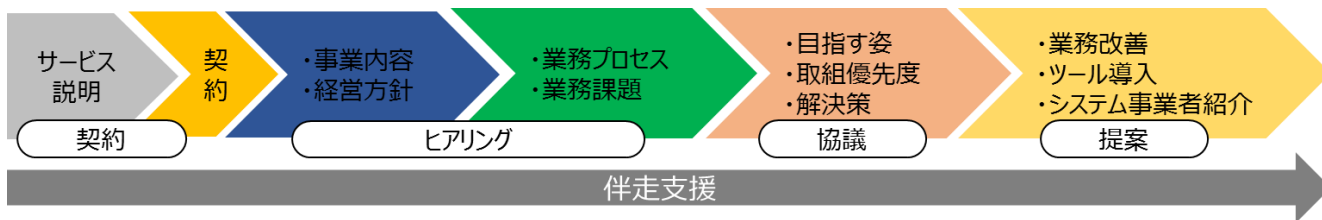
当行は地域金融機関として、本サービスの提供により事業者のデジタル化の入り口から一貫した伴走支援を行うことで、デジタル技術の活用およびコンサルティング機能を強化いたします。

#### 2. サービス名

「とちぎんデジタル化プランニングサービス」

#### 3. サービス内容

お客さまとの面談を基本に、業務プロセスを可視化し課題を抽出します。お客さまが目指すべき姿をともに描き、デジタルツールを活用した業務改善提案およびシステム事業者紹介を実施するコンサルティングサービス（有償）を提供します。

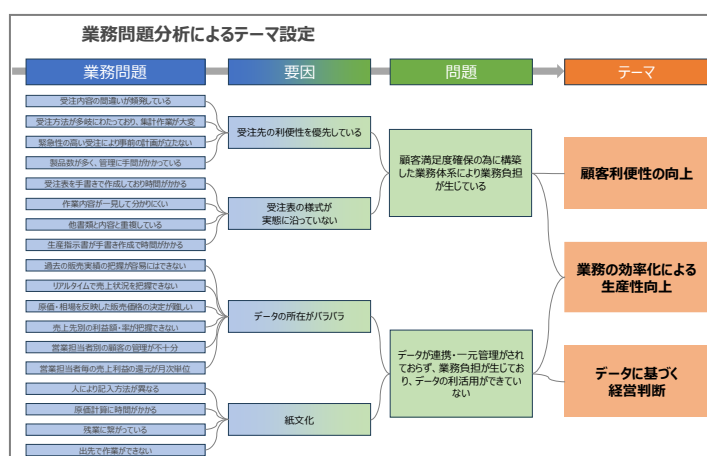


# NEWS RELEASE

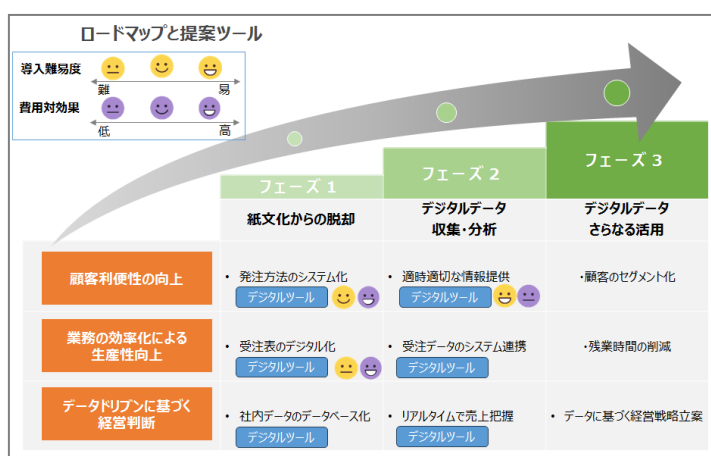
<実際の支援事例に基づくサービスイメージ>

- ・ X社／卸売業／中規模事業者
- ・ 業務プロセスの可視化を行った上で、経営者および実務担当者と業務上の問題点を列挙。
- ・ 問題点の要因分析を行い、問題点をグループ化し取り組むべきテーマを3つ設定。(図1)
- ・ 中長期的なデジタル化推進のためのロードマップを作成。(図2)
- ・ テーマ実現のためのアクションとして、複数のデジタルツール導入をご提案。
- ・ 紙で行っていた受注・納品時の業務を、デジタルツール導入により効率化を図った。
- ・ 今後もロードマップを基に、社内のデジタル化・業務効率化を伴走して支援予定。

(図1)



(図2)



## 4. 提供開始日

令和6年11月11日(月)

## 5. 地域デジタル化支援促進事業への採択

地域デジタル化支援促進事業は、「デジタル田園都市国家構想総合戦略(2023改訂版)」(令和5年12月26日閣議決定)において盛り込まれた「中小・中堅企業DX」の一環として、日常的に地域企業と強固な関係性を持ち、地域企業の事業課題や業務の実態を把握している地域金融機関等が行うデジタル化促進のための伴走支援事業に対して支援を行うものです。

これにより、地域企業のデジタル化を通じて、地域事業者の成長・成長性向上、ひいては地域経済の活性化の実現を目指します。

当行は、令和6年7月末に、本事業におけるDXコンサルティングを担う間接補助事業者として採択されました。

以上